

## 令和4年度 経営学部 第3年次編入学試験【出題の意図】

### 〔経営学〕

組織のデザインについて議論する際に、理論前提によって全く異なった議論が展開される。3つの出題のうち、最初の2つは異なった理論前提を持つ代表的な議論について、基本的な知識を問いつつ、その具体的な応用例を考えさせることを狙いとしている。3つ目の出題は、イノベーションという実践的目的を与え、さまざまに論じられている組織デザインから複数の概念を取り上げ、自らその理論前提の違いを考察させる思考力を問うものである。

### 〔会計学〕

1. 簿記の仕訳である。
2. 今年度から適用された会計基準を適用する際の問題点。
3. 総合原価計算の配賦計算を損益計算書の作成に繋いだ問題。

### 〔マーケティング論〕

1. マーケティング論で最も重要な概念である市場について理解しているかということと、マーケティングとは何を指す考え方なのかということを理解しているかを問う。
2. 社会の中で価値を創造するという視点から、特に製品・サービスが消費者の手に届くまでに発生するマーケティング課題とそれを解決する流通チャネル機能を理解しているかを問う。
3. マーケティング戦略を考える前段階の重要な意思決定事項である、事業や事業領域について理解しているかを問う。

### 〔経済学〕

- 問題1. 消費者の効用最大化問題を解き、需要関数を求める問題である。
- 問題2. 経済学で用いられる企業の利潤の概念の理解を問う問題である。
- 問題3. 規制が課される場合の、独占における企業行動の問題である。
- 問題4. ゲーム理論を基礎とする公共財の供給に関する問題である。
- 問題5. 不確実性下における、投資家の資産選択行動に関する問題である。

〔数学〕

1. 行列及び線形方程式の理解を確認する。
2. 関数の微分と積分の理解を確認する。
3. 解析学の基礎の理解を確認する。

〔小論文〕

前半の問いでは、新聞記事の断片的な情報と主張を読み取り、知識で補足しながら自分で主張の論理を理解し、簡潔にわかりやすく説明することを求め、読解力と論理的思考力/表現力を見る。また日本企業のマネジメントに関する基礎的な知識を持っているかについての確認も意図している。後半の問いでは、記事の主張や情報を踏まえて、自分の考えを論理的に述べる力を見る。あわせて、記事をもとに仕事生活に繋がる大学での学びという学生にとって重要なイシューに関する関連知識や見解の深さを問うことで、社会的な事象に関する論説を身近なイシューに結びつけて論じる能力を見る。